

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

RPPC に関連する報道発表は特にありません

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）
2. H28 第 1 回循環資源利用促進部会の開催について（8 月 23 日）

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 自由民主党の港湾議員連盟が総会開催
2. 福島県が小名浜港長期構想検討委員会開催
3. 舞鶴港湾事務所が舞鶴港和田ふ頭地区エプロン用地で地盤改良

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

下記のとおり技術説明会を開催します。
詳細については、添付ファイルをご覧ください。
なお、技術説明会は国や港湾管理者等の担当者を対象としていますが、一般会員の方の参加も可能です。添付の参加申込書に所定事項をご記入の上、申し込みください。

日時：平成 28 年 9 月 12 日（月）13：30～16：30
場所：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）
4F 大会議室

2. H28 第 1 回循環資源利用促進部会の開催について（8 月 23 日）

平成 28 年度第 1 回循環資源利用促進部会を、
下記の通り開催致します。

日時：平成 28 年 8 月 23 日（火）15 時 30 分から 17 時
会場：みなと総合研究財団 3 階会議室

部会員の方で、出欠のご返信をいただいている方は、早急に事務局までご連絡お願い致します。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 自由民主党の港湾議員連盟が総会開催

自由民主党の港湾議員連盟（望月義夫会長）総会が 8 月 3 日、党本部で開かれた。国土交通省が港湾の経済対策として掲げている大型クルーズ船の受入環境の改善など「21 世紀型のインフラ整備」、ならびに「熊本地震や東日本大震災からの復興や防災対策の強化」等を柱

とする経済対策について港湾局からヒアリングするとともに、意見を出し合った。そして外国人観光客4000万人時代に対応したインフラ整備としての大型クルーズ船受入のための港湾整備、国際コンテナ戦略港湾等の機能強化、地域の基幹産業の競争力強化など、「経済対策の推進に関する緊急決議」を行い、国会ならびに政府等に対し要望していくことを決めた。

総会には望月会長を初めとする港湾議連役員、議連メンバー多数が顔を見せたほか、国土交通省からは土井国土交通副大臣（当時）、宮内国土交通大臣政務官（同）、ならびに菊地港湾局長らの局幹部、それに関係団体から須野原日本港湾協会理事長、幸田日港連専務理事が出席した。

開会にあたって望月会長は、「熊本地震では陸上交通の復旧が遅れる中で、港を通じて物資が運ばれ地域の復旧に非常に有効だった。港には相当お金を投じても足りないくらいであり、我々港湾議連の活動は非常に重要。皆さんがそれぞれの地域の代表として、更には我が国の代表として今後とも港湾活動をしっかり進めていただいきたい」と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 福島県が小名浜港長期構想検討委員会開催

福島県は7月に小名浜港長期構想検討委員会の第2回会合を開催し、目指すべき方向性を実現する上での課題や対応策、将来の空間利用案などについて審議した。長期構想は今年11月頃策定予定で、28年度末を目途に港湾計画を改訂する。

同日の第2回委員会では新たな発電所計画に伴う更なる石炭取扱量の増加に対応した大水深岸壁や野積み場の用地不足に等への対応策として、東港地区における国際物流ターミナル機能の強化などの指摘があった。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 舞鶴港湾事務所が舞鶴港和田ふ頭地区エプロン用地で地盤改良

近畿地方整備局舞鶴港湾事務所は、舞鶴港の和田ふ頭地区水深14m岸壁延伸部整備として、このほどエプロン用地部分を対象とする地盤改良工事入札を公告した。中層混合処理工法で対象用地をベタ状に全て改良するほか、陸側コンテナレール部の上部工事なども実施する。本工事の工期は29年3月末となっており、その後には仕上げ工として別件でエプロン舗装やSOLAS対応の整備を行って直轄事業を完了させる方針。

舞鶴港和田ふ頭は外貿コンテナ貨物が増大していることから、2隻の大型船が同時接岸できるよう水深14m岸壁を約63m延ばす取組みをこれまで進めて来ている。岸壁本体となるケーソンの据付や裏込工事を終えており、現在は裏埋工が始まっている。

今回の地盤改良工事は裏埋部分を中層混合処理工法で固めるもので、裏埋土は軟弱なため護岸沿いの強固な地盤部分に改良機を入れ、順次改良面積を拡げて行く工法を考えている。改良深度は最大でマイナス 12m 程度。全体の改良ボリュームは約 2 万立方 m。

4. 和歌山港湾事務所、日高港浚渫土を津波避難の築山整備に有効活用

近畿地方整備局和歌山港湾事務所は、日高港塩屋地区国際物流ターミナル整備事業の一環で進めている水深 12m 泊地の浚渫で、今年度発生する浚渫土を地元の美浜町松原地区高台津波避難場所の築山整備に有効活用する。28 年度浚渫事業では約 3 万 6 0 0 0 立方 m の土砂が発生する予定になっており、美浜町が計画している高台避難の盛土材に用いる。

泊地浚渫事業はあおみ建設、美浜町の高台造成事業は浅川組が請け負っている。

津波避難場所の築山では高さ 15・5 m まで盛土を行う計画。

【港湾空港タイムス】

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

平成28年 7月 20日

関係者 各位

リサイクルポート推進協議会

リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。

さて、リサイクルポート推進協議会（RPPC）（※）では、港湾・空港等整備において、リサイクル製品（無機系循環資源）の活用を促進するため、循環資源利用促進部会を設置し、リサイクル製品の特徴や使用実績等をまとめた「リサイクル製品便覧」を作成し、普及・広報活動を行っています。

また、国土交通省港湾局は、平成27年12月に、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」を改訂し、港湾整備事業等においてリサイクル製品の利用促進を図ることとしております。

これらを背景として、リサイクルポート推進協議会では、国や港湾管理者等の港湾・空港等整備に携わる担当者を対象として、「循環資源技術説明会」を開催することといたしました。

最近のリサイクル製品技術、材料開発の状況、活用事例等を報告する機会として下記のとおり説明会を開催しますので、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

※ リサイクルポート構想を推進するための官民共通のプラットフォームとして、民間団体や民間事業者、リサイクルポートに指定された港湾管理者と関連する地方自治体を会員とする任意団体。

記

1. 開催日時及び場所

日 時 : 平成28年 9月12日（月）13:30～16:30

※プログラムについては、別添資料を参照下さい。

場 所 : JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）4F 大会議室

住 所 : 〒730-0812

広島市中区加古町4-17

TEL : 082-244-8000

2. 問合せ先

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちさき清水、ちき菅木

TEL : 03-5408-8296 FAX : 03-5408-8741

E-mail : rppc_jimukyoku@wave.or.jp

平成28年度 第1回

リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会プログラム案

リサイクルポート推進協議会
循環資源利用促進部会

日 時：平成28年 9月12日（月）13：30～16：30

会 場：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）4F 大会議室

【プログラム】	所用時間（分）
(1) ごあいさつ	(5)
リサイクルポート推進協議会 循環資源利用促進部会長 鉄鋼スラグ協会 技術部長 東 和彦	
(2) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について	(30)
新日鐵住金の事例紹介（カルシア改質技術、エコガイアストーン）（仮称） 新日鐵住金(株) スラグ・セメント事業推進部市場開拓室	
(3) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について	(25)
JFE の事例紹介（水和固化体、底質浄化技術）（仮称） JFEスチール(株) スラグ事業推進部	
(4) 港湾・空港工事における非鉄スラグ利用技術について（仮称）	(25)
日本鋳業協会 スラグ委員会	
(休 憩)	(15)
(5) 石炭灰活用について（仮称）	(25)
日本フライアッシュ協会	
(6) 溶融スラグ再資源化の現状について（仮称）	(25)
(一社)日本産業機械工業会	
(7)全体を通じた質疑	(30)
(閉 会)	

FAX送付先：リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちさき清水、むぎき菅木

FAX : 03-5408-8741

リサイクルポート推進協議会 循環資源説明会 FAX申込書

【日時】

平成28年 9月12日(火)

13:30 ~ 16:30

【会場】

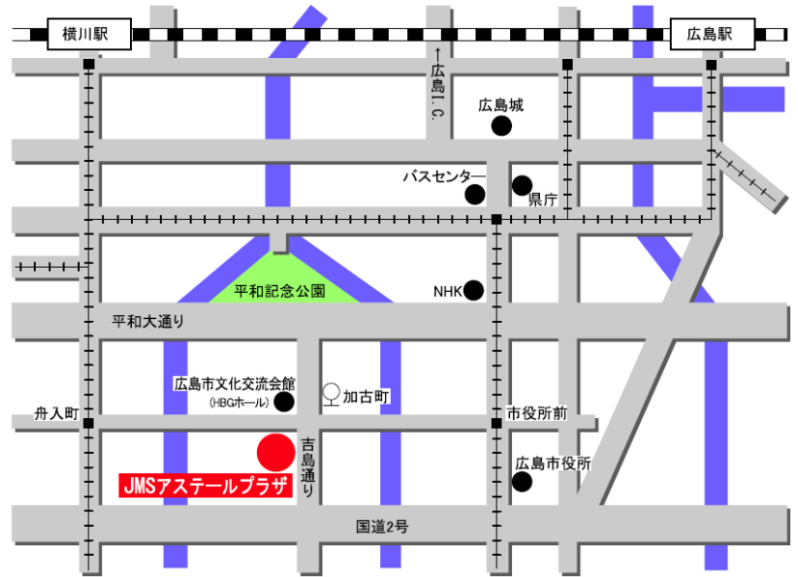
JMSアステールプラザ4F 大会議室
(広島市中区民文化センター)

〒730-0812

広島県広島市中区加古町 4-17

TEL : 082-244-8000

交通案内



【参加者記載欄】

下記に必要事項をご記入の上、**9月2日(金)までに**

FAX (03-5408-8741) またはメール (rppc_jimukyoku@wave.or.jp) にご返信下さい。

貴団体名		
(代表者)	参加者	ご所属・ご役職
		ふりがな 氏 名
参加者		ご所属・ご役職
		ふりがな 氏 名
		ご所属・ご役職
		ふりがな 氏 名
ご住所		
TEL		
FAX		